

『カブトムシ里親祭り（飼育編）』を開催しました!

本格化した夏の強い日差しを浴びながら、7月18日(月)に、エキスポ'90箕面記念の森「花の谷」(大阪府箕面市)で『カブトムシ里親祭り』を開催しました。

この『カブトムシ里親祭り』とは、参加者が夏の間、里親として地元産のカブトムシを飼育します。その後、秋に予定している『カブトムシの里親祭り(放虫編)』で、生まれた幼虫を持ち帰り、来年カブトムシが成虫になるのに向けて、「花の谷」内に設置してある昆虫ベッドに戻す取組で、NPOクワガタ探検隊(西義史理事長)と箕面森林ふれあい推進センターが連携し、森林ふれあい推進事業として令和元年から毎年実施している夏の恒例イベントです。

当日は天候にも恵まれ、4家族18人が参加しました。

はじめに、当センターの長岡所長からの歓迎の挨拶の後、NPOクワガタ探検隊による創作紙芝居を上演しました。参加者は車座になって興味深く観賞していました。

その後、「花の谷」のビオトープを探検したあと、これからひと夏を過ごすカブトムシのペアを、西理事長から受け取りました。

参加者は、やっとふれることのできたカブトムシに「元気で仲良く育ててね」「ひと夏、一緒に過ごそうね」と話しかけるなど、これから一緒に過ごす新しい家族にご対面して嬉しそうでした。

箕面森林ふれあい推進センターでは、今後も様々な機会を通じて、たくさんの皆さんが自然に触れ合えるような場所を提供して参ります。



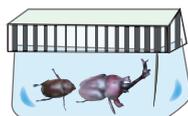
カブトムシにふれる参加者



紙芝居の実演



参加者の皆様とスタッフ



ペアで飼育
よろしく
おねがいします♪

